本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



●セットのしかた

(1)タイマー表示のとき、Ⓑボタンを押すとタイマーセット時間の「分」が点滅します。

(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が右図のように移動します。

(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。（5分単位でアナログ部のセグメントが1つ点灯します）

※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。

(4)セットが終わったら、Ⓑボタンを押すと点滅は止まります。

(5)Ⓐボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/100秒単位で表示します。（Ⓐボタンは計測のスタート/ストップボタンとなります）途中残り時間を知りたいときはⓈボタンを押します。（もう1度押すと解除）

※Ⓐ、Ⓢボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。



●超過時間計測機能

セット時間が経過すると報知アニメーションとともに10秒間電子ブザーが鳴り、自動的にストップウオッチ表示となって超過時間を計測します。

※鳴っている電子ブザーを止めるにはⒶまたはⓈボタンを押します。

●リピート計測

同じ時間を何回も計測するとき、計測の途中で最初からやり直すときなどは、計測ストップ時にⓈボタンを押します。

※もう一度Ⓢボタンを押すとストップウオッチ表示（リセット状態）になります。

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダー表示のときⒷボタンを押すと〝秒〟が点滅します。



(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3)Ⓑボタンを押すと時刻・カレンダー表示になります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法で合わせてください

(1)時刻・カレンダー表示のときⒷボタンを押します。

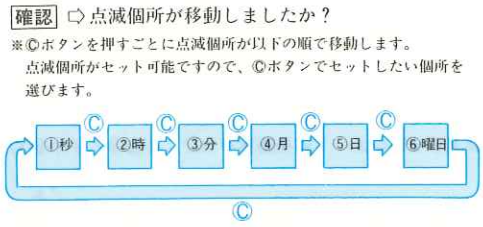
確認 ⇨〝秒〟が点滅していますか？



(2)Ⓒボタンを押します。

確認 ⇨点滅個所が移動しましたか？

※Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。





(3)Ⓐボタンを押します。

確認 ⇨点滅している表示が1つ進みましたか？

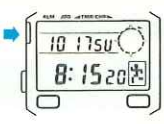
※Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

注）〝秒〟のときは表示が00になります。⇨「秒の合わせ方」参照



Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注）「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)にご注意ください。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すと時刻・カレンダー表示に戻ります。



●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

●鳴っている電子ブザーを止めるにはⒶまたはⓈボタンを押します。

●他表示への切替え
ストップウオッチまたはタイマーを使用中にⒸボタンを押して時刻表示など他の表示にしてもその計測には影響ありません。

●モニターアラーム
アラーム表示のときⒶボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。

たままにしておくと2～4分後自動的にセット前の表示に戻ります。

ご使用上の注意

温　度　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。
●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック　通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　気　磁気の影響はありません。

お手入れ　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類　水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　管　長時間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

バンド　●バンドは指が一本入る程度の余裕をもたせてください。

●防水性について

●50M防水の場合
水仕事、スポーツなどでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。

●防水性能を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。(特殊な治具を必要とします。)

●電池交換について

最初の電池　工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　耗　電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換　電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型デジタル表示
基本機能：時・分・秒・午前/午後・月・日・曜日　オートカレンダー(2月28日制)
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
ジョギング機能：入力データ　歩幅(最大3.95mまたは9フィート11インチ)
ピッチ(65歩/分～215歩/分)
計測機能　経過時間(最大23時間59分59秒)
走行距離(最大99.9999kmあるいはmile)
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99(60分計)
計測範囲＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
タイマー機能：計測単位＝1/100秒　セット単位＝秒　電子ブザー＝10秒間
計測範囲＝59分59秒　計測機能＝通常計測・積算計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)
アラームセット機構、タイマーセット機構、歩幅、ピッチセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム、報知アニメーション
ランニングアニメーション
主要回路素子：音叉型高性能振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：BR-2016(電池別途販売)
電池寿命：約2年(1日当り電子ブザー30秒、ジョギング10分間使用した場合)

●計測スタート

Ⓐボタンを押すとピッチ音が鳴り出し、計測がスタートしますので、ピッチ音に合わせて走ってください。

※アニメーションが動きます。

※計測中ペースが合わないときでもピッチや歩幅をセットし直すことができます。



★計測のしかた

Ⓐ スタート ⟹ Ⓐ ストップ ⟹ Ⓢ リセット

※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後リセットせずに再スタートさせます。

アラーム機能の使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押してアラームモードにします。

確認 ⇨ ALM ―インジケーターの点灯

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。
また、毎正時（00分のとき）を〝ピッピッ〟と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。



●セットのしかた

(1)アラーム表示のとき、Ⓑボタンを押すとアラームセット時刻の「時」が点滅します。

(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。

(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。

※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。

注)「時」のセットのとき、午前(A)／午後(P)にご注意ください。



(4)セットが終わったら、Ⓑボタンを押すとアラーム表示に戻ります。



●アラーム、時報のON/OFF

アラーム表示のとき、Ⓢボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。

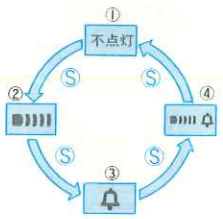


①アラームマーク、時報マークが消えているとき
⟶アラーム、時報ともOFF

②アラームマークのみ点灯しているとき
⟶アラームのみON

③時報マークのみ点灯しているとき
⟶時報のみON

④アラームマーク、時報マークが点灯しているとき
⟶アラーム、時報ともON

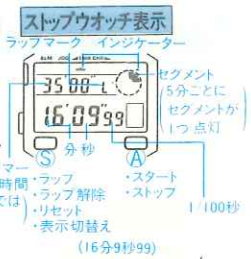


ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押してストップウオッチ／タイマーモードにし、Ⓢボタンでストップウオッチ（リセット状態）にします。

確認 ⇨ TMR/CHR ―インジケーターの点灯

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。
アナログ部では5分経過ごとにセグメントが1つ点灯します。

★計測のしかた……Ⓐ、Ⓢボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。



●通常の計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓐ ストップ ⟹ Ⓢ リセット

※積算計測……ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップタイムの計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓢ ラップ計測 ⟹ Ⓢ ラップ解除 ⟹ Ⓐ ストップ ⟹ Ⓢ リセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓢ 1着がゴール（1着タイム表示） ⟹ Ⓐ 2着がゴール ⟹ Ⓢ 2着タイム表示 ⟹ Ⓢ リセット

※ストップウオッチリセット中にⓈボタンを押すとタイマー表示に切替わります。

タイマーの使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押してストップウオッチ／タイマーモードにし、Ⓢボタンでタイマー表示にします。

確認 ⇨ TMR/CHR ―インジケーターの点灯

タイマーは1秒単位で最大59分59秒までセットでき、セット時間が経過すると報知アニメーションとともに10秒間電子ブザーが鳴ります。
アナログ部では残り時間をセグメントで表示し、5分経過ごとに1つずつ消えていきます。



このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

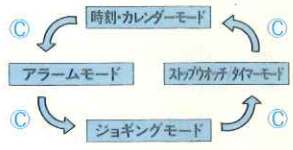
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。
(押すごとに確認音が鳴ります)

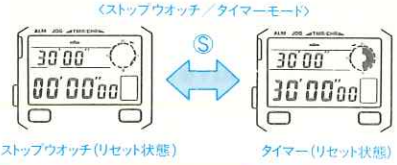
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。



〈曜日の見方〉

●ストップウオッチとタイマーの切替えについて

Ⓒボタンを押していくとストップウオッチ／タイマーモードでは〈ストップウオッチ〉あるいは〈タイマー〉のいずれかの表示になります。このとき、Ⓢボタンを押すごとにストップウオッチ（リセット状態）とタイマー（リセット状態）とが切替わります。したがってストップウオッチ／タイマーモードでは〈ストップウオッチ〉、〈タイマー〉のいずれかの機能を選択して使用します。



ジョギング機能の使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押してジョギングモードにします。

確認 ⇨ JOG ―インジケーターの点灯

ピッチおよび歩幅をあらかじめ設定し、一定間かくで鳴るピッチ音に合わせてジョギングをするとその経過時間、走行距離を知ることができます。

※ピッチは1分間の歩数で、65歩/分～215歩/分の範囲でセットできます。また、歩幅は最大3.95m（フィートでセットの場合は9フィート11インチ）までセットできます。



●ピッチのセット

(1)ジョギング表示のとき、Ⓑボタンを押すとピッチ表示になります。

※モニターとしてピッチ音が鳴ります。



(2)Ⓐボタンを押すごとに5歩ずつ増え、Ⓢボタンを押すごとに5歩ずつ減ります。Ⓐ、Ⓢボタンで自分に合ったピッチに調節します。

※ⒶまたはⓈボタンを押し続けると早送りができます。



●歩幅のセット

(3)ピッチのセットが終わったら、Ⓑボタンを押すと歩幅表示になります。



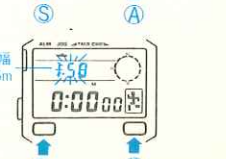
(4)歩幅の単位が、Ⓐ、Ⓢボタンを同時に押すごとにメートル(M)とフィート(FT　IN)とに切替わります。Ⓐ、Ⓢボタンを押してセットしたい単位にします。

※歩幅をメートルでセットしたとき走行距離は「キロメートル」でフィートでセットしたときは「マイル」で知ることができます。



(5)Ⓐボタンを押すごとに0.05m（1インチ）ずつ増え、Ⓢボタンを押すごとに0.05mずつ減ります。
Ⓐ、Ⓢボタンでジョギングでの歩幅をセットします。

※ⒶまたはⓈボタンを押し続けると早送りができます。



(6)歩幅のセットが終わったら、Ⓑボタンを押すとジョギング表示（リセット状態）に戻ります。

